

研修報告書 No.9

研修先： 土佐市民病院

この度、高知県の土佐市民病院において 1 ヶ月間地域医療研修をさせていただきましたのでここに報告致します。

最初に、普段東京の大学病院にて研修をしている私から見た高知の地域医療について抱いた感想を述べます。研修当初、高知はご高齢の患者さんがとても多いが医師の数は少ない、といった印象を率直に受けました。都会の大学病院の、医師の数が多く検査機器や連携施設も充実しているような環境に慣れている私は、正直高知にて最初は不安を覚えたところもありました。しかし、土佐市民病院においては医療者の数が少ない分、医師と患者間、また医療者間において密にコミュニケーションをとることが可能です。それにより患者さんも含めた適切なチーム医療が実践されていることに研修を重ねていく上で気づきました。まさに地域医療の醍醐味を見せて頂いたと思っています。

次に具体的な研修内容に関してですが、何といたっても一般内科の外来診療を任せて頂いたことが非常に強く印象に残っています。普段の研修においては上級医、同期の数がとても多いため自分から自発的に動かねばならないようなことは少なく、上級医のサポートをすることが多いのが実状です。ところが今回は自分が外来を任されている以上、自力で患者さんの訴えから鑑別疾患を挙げ、身体診察をした上で必要ならば検査を行い、治療方針を立てねばなりません。初めのうちはとても難しくプレッシャーもかなりありましたが、上級医、医療スタッフの方々、その他の職員のみなさんに支えられながら何とか日々こなすことができました。そんな日々を送る中で、途中から自信を持って診療に当たっている自分がいました。今回私をサポートして下さいました方々には大変感謝しております。

また、私の中で強く印象に残っていることとして昨今大流行している COVID-19 の診療に一般内科外来の立場から臨んだことも挙げられます。もちろん普段の研修においても COVID-19 の患者さんはいますが、多くは隔離され、私が直接診療に当たる機会はほぼありませんでした。しかし今回、COVID-19 陽性の患者さんや疑わしい患者さんに対し必要な検査・適切な治療を自分で考えたことは、まさに臨床現場の最前線に立たせてもらっていたと感じます。非常に貴重な経験をさせていただきました。

今回の研修で、一般内科外来の他に外科外来、小児科外来の見学や病棟の管理、最後には症例発表も経験させていただきました。大学病院にいと研修医が自発的に動かねばならないような状況は限られ、上級医の診療の見学で終わってしまうようなこともあります。しかし土佐市民病院においては上級医の先生方が研修医の自主性を尊重し、様々なことを経験させてあげよう、といった強い思いが感じられました。最初はついていくことに精一杯でしたが、いつしか自発的に私も診療に参加したいと自分の心持ちが変化していることに気づき

ました。今回の研修で得たことはたくさんありますが、自分の中でこうした前向きな心境の変化があったことが一番の収穫だったと思います。この気持ちを忘れることなく今後の診療に臨み、患者さんの手助けができればと考えております。

今回の高知県の土佐市民病院における研修は、今後私がどのような進路に進むにせよ、必ず財産になる経験であったと断言できます。このような貴重な経験をさせて頂くにあたり、本当に多くの方々に関わってくださったことを1カ月の研修を終えた今、肌で感じています。改めて、今回私の地域医療研修に関わってくださった全ての方々に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。